

毎時間が真剣勝負！

鳥取市立佐治小学校



6年生の授業の様子より

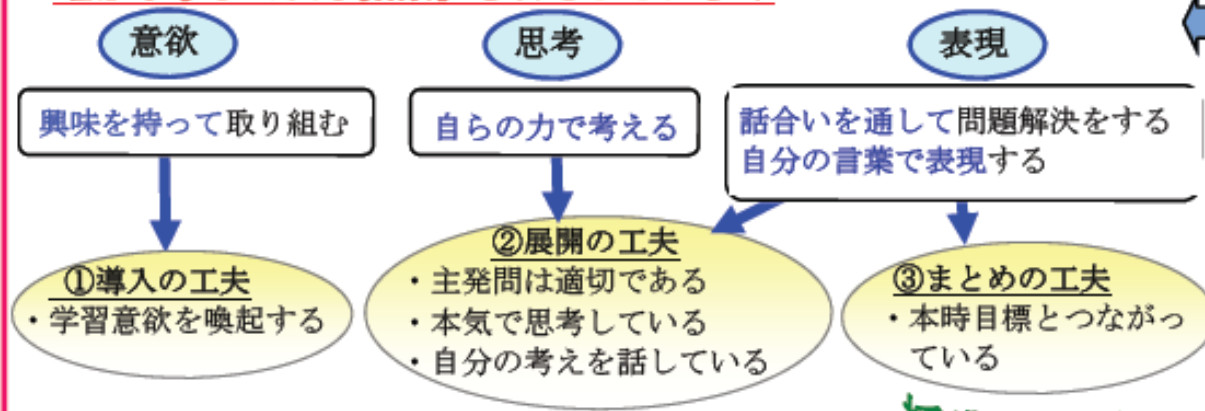
佐治小学校では、児童の学習の実態や教師自らの授業を振り返りながら、「確かな学びのある授業」をめざして授業改善に取り組んでいます。積極的に授業を公開し、お互いに授業力を高め合っています。



まず教師の意識の改革をしました

- ・習得型の学習に偏りがちなので、意欲・思考・表現の学習過程を大切にしよう。
- ・子ども主体の授業をめざすために、教師中心の学習を見直そう。
- ・子どもたちの発表を増やすために、教師が話しすぎないようにしよう。

「確かな学びのある授業」をめざしています



授業実践を通し 自らの授業力を鍛える

- ・研究教科は全教科全領域 (苦手な教科にも挑戦しました！)
- ・一人月1回 (年9回) 授業研究会 (そのうち1回は全体授業研究会)
- ・略案形式での指導案作成

【児童の変容】

- ・「今日の授業が楽しかった。」と保護者に話す児童が増えた。
- ・児童相互で話を聞き合い、それに対する意見がつながり始めた。

考えることが楽しい

【教師の変容】

- ・日々の授業を研究の視点に立って変えていこうとする意識が高まった。
- ・苦手な教科も学習指導要領を熟読し自分で授業を創造しようとする取組が実践されるようになった。

授業力向上へ

めざす授業像の実現に向けて、自らの意識改革に取り組み、授業を公開して協議する中で、新たな気づきが生まれます。教師の思いが授業という形になって、子どもたちの変容につながってほしいと思います。